

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

(監督員 '1/15

考査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般		施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である
		<p>「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、監督員から文書により改善指示を行った。 上記該当項目があれば……………e <input type="checkbox"/> □ 工程表、現場代理人等選任届、施工状況報告書等が所定の様式で提出されていた。 <input type="checkbox"/> □ 工事カルテの登録は、監督員の確認を受けた上で契約後適切に行われていた。 <input type="checkbox"/> □ 品質証明の資料が確認でき、品質証明の時期・確認項目が、工事全般にわたり、よく把握されていた。 <input type="checkbox"/> □ 建設業退職金共済制度に係る手続き、管理が適切に実施されていた。 <input type="checkbox"/> □ 施工体制台帳、施工体系図が整備され施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致していた。 <input type="checkbox"/> □ 緊急指示等に対する対応が速やかであった。 <input type="checkbox"/> □ 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工された。 <input type="checkbox"/> □ 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。 <input type="checkbox"/> □ その他(理由:</p>				
		<p>評価項目が80%以上……………b 評価項目が60%以上80%未満…………c 評価項目が60%未満……………d</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

審査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技術者 (現場代理人等)	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
		<div>「評価対象項目」</div> <div><input type="checkbox"/> 現場代理人等の技術者配置が不備で、監督員から文書により改善指示を行った。</div> <div><input type="checkbox"/> 専門技術者が配置されていない。</div> <div>上記1項目でも該当あれば………d</div> <div>2項目あれば………e</div> <div><input type="checkbox"/> 現場代理人は常駐しており、工事全体の把握ができていた。</div> <div><input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督員に対して施工状況に関する連絡、情報等の内容及び時期が適切に行われた。</div> <div><input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に処理されていた。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工等に伴う創意工夫または提案をもって工事を進めていた。</div> <div><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針、関係法令・基準等をよく理解し、現場に反映し工事を行った。</div> <div><input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応していた。</div> <div><input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めた。</div> <div><input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、部下等共によく指導した。</div> <div><input type="checkbox"/> 監理技術者又は、主任技術者は建設業法に定める職務を遂行するために必要な知識と経験を有するものであった。</div> <div><input type="checkbox"/> 監理技術者等の資格を証明する資料が提出された。</div> <div><input type="checkbox"/> 監理技術者は監理技術者資格者証等を携帯していた。</div> <div><input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し配置していた。</div> <div><input type="checkbox"/> 専門技術者を選任、配置していた。</div> <div><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</div> <div><input type="checkbox"/> その他(理由:</div> <div><div>評価項目が90%以上………a</div><div>評価項目が80%以上90%未満………b</div><div>評価項目が60%以上80%未満………c</div><div>評価項目が60%未満………d</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

(監督員 '3/15

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理		施工管理が適切である	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督員から文書により改善指示を行った。</p> <p>上記1項目でも該当あれば……………d</p> <p>2項目以上あれば……………e</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 契約書18条第1項第1号から第5号に基づく設計図書の照査を行い施工された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 社内に一般的工事の施工マニュアルが整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工に適した機器材・機械等が使用された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策が行われた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が適時、的確に行われていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 日常の品質管理が適時、的確に行われていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用機器材等の品質保証書等が適切に整理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 段階確認及びその報告が適時、適確に行われていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の内容に関して、疑義が生じた際、監督員と協議の上、書面等で確認し施工された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建設廃棄物、リサイクルへの取り組みが適切になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事全体で使用機械、車両等で低騒音、低振動型及び排出ガス対策型建設機械等を使用していた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工図は仕上げ、他工種及び別契約の関連工事との収まり等について十分検討されたものであった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工図は当該工事の施工前に提出された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:</p>				
		<p>評価項目が80%以上……………b</p> <p>評価項目が60%以上80%未満……………c</p> <p>評価項目が60%未満……………d</p>				
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表(建築・設備工事)

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

(監督員 '4/15

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	工程管理が適切である	工程管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 請負者の責により工期内に工事を完成させなかった。(但し、改善指示による場合を除く)</p> <p>上記該当があれば.....e</p> <p><input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督員から文書により改善指示を行った。</p> <p>上記該当があれば.....d</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現場条件変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 実施工程表は工事全般にわたり綿密にたてられ、各工種と全体との整合がとれていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 夜間や休日の作業が少なく、余裕をもって工期内に完成した。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 月間又は週間工程表を作成し、工程管理に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との工程調整を行い、現場作業の円滑な進捗に努めた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事の総合試験運転及び調整が支障なく行われた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:)</p> <p>評価項目が90%以上.....a</p> <p>評価項目が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価項目が60%以上80%未満.....c</p> <p>評価項目が60%未満.....d</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

(監督員 '5/15

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害を受けた。 上記該当があれば.....e</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。 上記該当があれば.....d</p> <p><input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回／月以上活動し記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回／月以上実施し記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育・訓練等を適時、的確に実施し記録が整備され、かつ創意工夫を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工現場での安全巡視、作業前打ち合わせ(Tool-Box-Meeting)、危険予知(KY)活動等を実施し記録の整備を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいた。</p> <p><input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、管理されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用い実施されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全通路の確保、落下物の防止等の安全措置が的確になされていた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事箇所及びその周辺の地上及び地下の埋設構造物、既設配管等に対して支障をきたさないよう必要な措置を講じた。</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由:</p>				
		<p>評価項目が90%以上.....a</p> <p>評価項目が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価項目が60%以上80%未満.....c</p> <p>評価項目が60%未満.....d</p>				
		<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p>				

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	IV. 対外関係	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
		<div>「評価対象項目」</div> <div><input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。</div> <div>上記該当があれば.....e</div> <div><input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い、また対応が悪くトラブルがあった。</div> <div><input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督員が文書で指示を行った。</div> <div>上記1項目でも該当あれば.....d</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事の着手、施工、完了にあたり、関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整を適切に行った。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり地元との適切な折衝及び調整を行った。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 地元住民に対し、広報等を行い、第三者からの苦情がなかった、また苦情によるトラブルが少なかった。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、工事全体の円滑な進捗に努めた。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックで指摘事項が無かった。また指摘事項に対する改善が速やかに(次回)実施された。</div> <div><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他(理由:</div> <div><div>評価項目が90%以上.....a</div><div>評価項目が80%以上90%未満.....b</div><div>評価項目が60%以上80%未満.....c</div><div>評価項目が60%未満.....d</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>				

(監督員 '7/15

考查項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば……………e</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば……………d</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形管理図又は、出来高管理表が適切にまとめられており、確認できた。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できた。</p> <p><input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、適切に管理していた。</p> <p><input type="checkbox"/> 写真管理基準、国土交通省「工事写真の撮り方・建築編」等を用い、創意工夫を持って適切に管理していた。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値(設計図書)に適合していた。</p> <p><input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値(設計図書)に適合していた。</p> <p><input type="checkbox"/> その他(理由:)</p> <p>評価項目が90%以上……………a</p> <p>評価項目が80%以上90%未満……………b</p> <p>評価項目が60%以上80%未満……………c</p> <p>評価項目が60%未満……………d</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = ()評価数 / ()評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

(監督員 '8/15

考查項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 工種 建築工事 (新築)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば……………e <input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば……………d (躯体工事) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。 (仕上工事) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確で品質確保に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質・形状が適切で良好な施工である。 評価項目が90%以上……………a 評価項目が80%以上90%未満……………b 評価項目が60%以上80%未満……………c 評価項目が60%未満……………d				
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 ③ 評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 </div>				

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	工種 建築工事 (改修)	<div>「評価対象項目」</div> <div><input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば.....e</div> <div><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば.....d</div> <div><input type="checkbox"/> 品質管理方法が明確である。</div> <div><input type="checkbox"/> 施工計画書に定められた品質計画により管理されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 材料の品質証明が適切である。</div> <div><input type="checkbox"/> 請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。</div> <div><input type="checkbox"/> 品質・形状が適切で良好な施工であった。</div> <div><input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</div> <div><div>評価項目が90%以上.....a</div><div>評価項目が80%以上90%未満.....b</div><div>評価項目が60%以上80%未満.....c</div><div>評価項目が60%未満.....d</div></div> <div><div>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</div><div>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</div><div>③ 評価値(%)=()評価数/()評価対象項目数</div><div>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</div></div>				

(監督員 10/15

考查項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	工種 電気設備工事	<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば……………e</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば……………d</p> <p>(機材)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状について、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。</p> <p>(施工)</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されていた。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切であった。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認でき、試運転等の記録が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</p> <p>評価項目が90%以上……………a</p> <p>評価項目が80%以上90%未満……………b</p> <p>評価項目が60%以上80%未満……………c</p> <p>評価項目が60%未満……………d</p>				
		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

「記入方法」評価対象項目は左□にレマーク、評価項目は右□にレマークを記入する。

(監督員 '11/15

考査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質 工種 機械設備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書第17条2項に基づき破壊検査を行った。 上記該当があれば.....e</p> <p><input type="checkbox"/> 監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当があれば.....d</p> <p>(機材)</p> <p><input type="checkbox"/> 機材の品質及び形状について、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 製造者による試験が的確に行われ、設計図書等に適合する証明書が整備されていた。</p> <p>(施工)</p> <p><input type="checkbox"/> 品質計画による品質管理記録が整備されていた。 <input type="checkbox"/> 施工の品質及び形状が適切で良好な施工であった。 <input type="checkbox"/> 施工完了時の試験及び記録が適切であった。 <input type="checkbox"/> 機能の適切性が確認でき、試運転等の記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 不可視部分の写真記録が適切である。</p> <p>評価項目が90%以上.....a 評価項目が80%以上90%未満.....b 評価項目が60%以上80%未満.....c 評価項目が60%未満.....d</p> <div> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) 計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = () 評価数 / () 評価対象項目数</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表(建築・設備工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。・に○を記入する

(監督員 12/15

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事例
4. 高度技術	I. 高度技術力 キーワード評価	■施工規模への対応 <input type="checkbox"/> 1.対象構造物の高さ、施工面積等の規模 <input type="checkbox"/> 2.対象構造物の形状の複雑さ <input type="checkbox"/> 3.その他(理由:	・延べ面積10,000㎡以上の建物 ・地上9階以上の建物 ・地下2階以上の建物 ・大空間のホール等を有する建物 ・研究所等、特殊設備・機能のある建物
		■構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 4.対象構造物の耐震レベル <input type="checkbox"/> 5.既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 6.その他(理由:	・建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてⅠ類及びA類に属する工事 ・電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事 ・耐震及び免震構造の工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り回しを行った工事 ・仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事 ・休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事
		■技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 7.工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 8.新工法(機器類を含む)及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 9.その他(理由:	・施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事等 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・VE提案された工法等が高度技術で評価できる場合
		■厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 10.湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 11.軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 12.工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 13.雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> 14.その他(理由:	・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事
		■厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 15.地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 16.工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 17.周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 18.周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 19.生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約 <input type="checkbox"/> 20.現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 <input type="checkbox"/> 21.騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 22.その他(理由:	・地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 ・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 ・大気圧を越える気圧下の作業室での工事 ・酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事又は地上・水面から10m以上(10m以下)での工事 ・工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 ・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表(建築・設備工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。・に○を記入する

(監督員 13/15

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 高度技術	I. 高度技術力 キーワード評価	■施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 23.災害等での臨機の処置 <input type="checkbox"/> 24.施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 25.その他(理由:	・特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 ・外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事
		■その他 <input type="checkbox"/> 26.その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評定する必要がある事項(理由:	・その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術
	記述評価 (レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述)	評点: 点 ・高度な技術力は、加点評価とする。 ・該当キーワードの数と重みを勘案して評価する。 ・1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。 ・加点は+5点～0点の範囲とする。	【高度技術のキーワードの詳細】

※1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術を要する必要があった技術を評定するものである。なお、「5. 創意工夫」との二重評価はしない。

※2. 詳細評価の記述にあたっては、課長、係長等との合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度技術力を記述する。

※3. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5.創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表(建築・設備工事)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入する。

(監督員 14/15

考査項目	細別	1. 創意工夫キーワード一覧表(創意工夫が多く見られるリスト)	施工性	品質	安全性	作業環境	その他(項目記載)
5. 創意工夫 【軽微なもの】	I. 創意工夫 キーワード評価	■準備・後片づけ関係					
		□ 1.測量・位置出しにおける工夫	□	□			□()
		□ 2.現地調査方法の工夫	□	□	□	□	□()
		□ 3.その他(理由:	□	□	□	□	□()
		■施工関係					
		□ 4.施工に伴う器具・工具・装置類の工夫	□	□	□	□	□()
		□ 5.工場加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み	□	□	□	□	□()
		□ 6.土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫	□	□	□	□	□()
		□ 7.部材・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法に工夫	□	□	□	□	□()
		□ 8.電気工事等の配線、配管等での工夫、	□	□	□	□	□()
		□ 9.給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫	□	□	□	□	□()
		□ 10.照明・視界確保等の工夫	□		□	□	□()
		□ 11.仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫	□		□	□	□()
		□ 12.運搬車両・施工機械等の工夫	□		□	□	□()
		□ 13.支保工、型枠工、足場工及び仮棧橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫	□		□	□	□()
		□ 14.施工管理及び品質向上等の工夫	□	□			□()
		□ 15.プレハブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫	□	□		□	□()
		□ 16.改修工事における仮設施工の工夫	□		□	□	□()
		□ 17.その他(理由:	□	□	□	□	□()
		■品質関係					
		□ 18.集計ソフト等の活用と工夫		□			
		□ 19.躯体工事の品質管理の工夫		□			
		□ 20.材料の検査試験に関する工夫		□			
		□ 21.施工の検査試験に関する工夫		□			
		□ 22.品質記録方法の工夫		□			
		□ 23.その他(理由:		□			
		■安全衛生関係					
		□ 24.安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等)	□	□	□	□	□()
		□ 25.安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫	□	□	□	□	□()
		□ 26.現場事務所、労務者休憩所等の居住空間及び設備等の工夫、	□	□	□	□	□()
		□ 27.酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫	□	□	□	□	□()
		□ 28.供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保等のための工夫	□	□	□	□	□()
		□ 29.苦渋作業等の作業環境低減等の工夫	□	□	□	□	□()
		□ 30.ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫	□	□	□	□	□()
		□ 31.その他(理由:	□	□	□	□	□()

審査項目	細別	1. 創意工夫キーワード一覧表(創意工夫が多く見られるリスト)	施工性	品質	安全性	作業環境	その他(項目記載)
5. 創意工夫	I. 創意工夫	■施工管理関係					
		<input type="checkbox"/> 32.出来形管理等に関する工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 33.施工計画書及び写真記録等に関する工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 34.出来形、品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 35.CAD、施工管理ソフト、度量管理システム等の活用		<input type="checkbox"/>			
		<input type="checkbox"/> 36.その他(理由:		<input type="checkbox"/>			
		■その他					
		<input type="checkbox"/> 37.その他(理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 38.その他(理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
		<input type="checkbox"/> 39.その他(理由:	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ()
【軽微なもの】	キーワード評価						
	記述評価 (レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述)	評価: 点 ・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+5点~0点の範囲とする。 ・該当キーワードの数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	【創意工夫の詳細評価】				

- ※1. 創意工夫においては、「4. 高度技術」の審査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。
- ※2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも再評価する。
- ※3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※4. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、課長及び係長等との合議をもって記述する。
- ※5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。